

商学部

Faculty of Business and Commerce

📱 商学部 ホームページ

商学部のさらに詳しい情報、最新のトピックを知るには、「商学部ホームページ」をご確認ください。商学部紹介ムービーや商学紙芝居など、楽しいコンテンツも満載です。スマートフォンやタブレットでも見やすいように、レスポンシブwebデザインを採用しています。



📱 関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

2023年4月
リニューアル

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載！社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索
/ クリック! \



LINE 関西大学 入試センター ×
LINE公式アカウント



Instagram 関西大学 入試センター
公式Instagram



Twitter 関西大学 入試広報
公式Twitter



YouTube 関西大学 入試センター
公式YouTube



大阪(大阪梅田)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

商学科

流通専修
ファイナンス専修
国際ビジネス専修
マネジメント専修
会計専修



ALSP

公認会計士試験の合格と、
ビジネススキルの修得をフルサポート。



BestA

イギリスの古都・ヨークに
滞在しながらビジネス英語を学ぶ。



BLSP

プロアクティブなビジネスリーダーをめざす、
少数精鋭のプログラムを展開。



DSI

ポテンシャル豊かなイノベーターを創出し、
社会に貢献できる人材を育成。

商学部でどう学ぶか

私たちの学部では、大きく分けて2つの学び方があり、自由に選ぶことができます。1つ目は、「ゼミナール」に進んで専門研究を進めていくことです。多くの学生がゼミナールに所属します。2つ目は、「実践プログラム」に参加することです。実践プログラムでは、特定分野のスペシャリストをめざすための特別なカリキュラムを提供しています。商学部では他にも、資格取得による単位認定、公表・表彰や、商学研究科(高度専門職養成コース)への進学を前提とした早期卒業(在学3年間で卒業)制度を設けています。

商学部 3つの学びのPOINT

1. めざす将来像をイメージしながら学べる5つの専修。
3年次に分属する流通専修・ファイナンス専修・国際ビジネス専修・マネジメント専修・会計専修の5つの専修では、将来の社会経験をイメージした専門的な学びを通して、自分のめざすべき将来像や各業界への適性を感じ取ることができます。
2. ビジネスの現場で使える力を養う実践プログラム群。
ビジネス英語やビッグデータ分析手法など、グローバル社会および、ビジネスの現場で求められる力を身に付けるために用意されているのが、商学部の実践プログラム群。豊富な体験と達成感の積み重ねによって、実用的なスキルと強い自信を磨きます。
3. 社会やビジネスの現場で役立つ資格取得を学部でサポート。
資格取得に関連した科目を多数配置し、在学中の合格に向け、学習環境を整えています。公認会計士のほか、日商簿記検定、税理士、中小企業診断士等さまざまな資格をめざすことが可能です。また、学外の資格を取得した場合に、専門教育科目の単位として認定する制度も設けています。

Contents

03	商学部の学び 4年間の流れ	11	ビジネスのスペシャリストになる DSI サービス・イノベーション特別プログラム
05	5専修紹介	12	商学部ニュース!
07	公認会計士試験合格支援体制	13	キャリアデザイン・資格/OB・OGからのメッセージ
08	会計のプロをめざす ALSP 会計連携特別プログラム		
09	ビジネス英語に強くなる BestA 海外ビジネス英語プログラム BLSP ビジネスリーダー特別プログラム		

学部長からのメッセージ

考え、動き、突破するビジネスリーダーをめざして

日本は少子高齢化の進展、急速なグローバル化、人工知能の普及やデジタル化など、次々と新しい困難な問題に直面しています。激変する環境の中、企業は新しい価値を創造し、成長しなければなりません。商学部はその最前線で活躍するビジネスリーダーを育成してきました。

商学部は直面する諸問題を自ら解決できるビジネスリーダーを育成するため、体系的かつ実践的なカリキュラムを用意しています。そして学生の希望に添った特別プログラムは高度な専門家に必要な実践的な知識と貴重な経験を獲得できるように設計されています。単なる知識とは違い、将来の礎となる貴重な体験を得られるはずです。その体験が社会に出てからの突破力となっていきます。

このパンフレットを手にした皆さんには、是非ともキャンパスに足を運んでみることをお勧めします。先輩たちが充実したキャンパスライフを送っているのを目にすることができると思います。キャンパスで会えることを楽しみにしています。



商学部長
岸谷 和広 教授



! 本学商学研究科(高度専門職養成コース)及び、本学会計専門職大学院への進学をめざす、きわめて優秀な学生を対象に

早期卒業(在学3年間で卒業)を認める制度を設けています。

詳しくは商学部ホームページ「早期卒業制度」をご覧ください



さらに実力を高めたい人には

実学を実践的に学べる4つのプログラムを活用して大きく力を伸ばそう!

会計のプロをめざす

ビジネス英語に強くなる

ビジネスのスペシャリストになる

実践プログラム①

ALSP

公認会計士試験の合格と、ビジネススキルの修得をフルサポート。

会計力
×
実践力

1年次より履修可能

紹介は
08ページへ

実践プログラム②

BestA

イギリスの古都・ヨークに滞在しながらビジネス英語を学ぶ。

英語力
×
実践力

1年次より履修可能

紹介は
09ページへ

実践プログラム③

BLSP

プロアクティブなビジネスリーダーをめざす、少数精鋭のプログラムを展開。

英語力
×
実践力

2年次より履修可能

紹介は
10ページへ

実践プログラム④

DSI

ポテンシャル豊かなイノベーターを創出し、社会に貢献できる人材を育成。

発見力
×
実践力

3年次より履修可能

紹介は
11ページへ

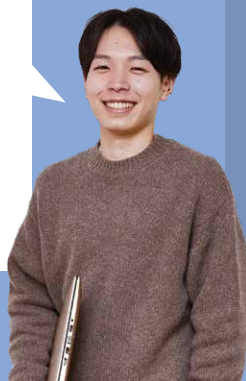
流通専修

生産と消費をつなぐ流通のメカニズムや企業のマーケティング戦略に関する理論を、さまざまな視点から説明していきます。経済や流通の基本であるヒト、モノ、マネー、そして近年特に重要になってきている情報が、どのように流れていくかということに焦点を合わせ、社会・経済・経営の仕組みを明らかにします。

流通の仕組みを学ぶことで、
広い視野と論理的に考える力が育つ。

広告や企画への興味から商学部へ。商学の基礎的な学びに加え、コンビニエンスストアでのアルバイトを通して小売業の流通に関心を抱き、流通専修を選択しました。消費者ニーズの変化や技術の発達により、小売業界には新しい形態が次々に誕生。当たり前のように使っているサービスにも、さまざまな理論に基づく仕組みと問題点が存在します。生活に密着した流通の裏側を学ぶ中で、多角的な視野と論理的な思考力が身に付きました。

4年次生 / 鳥越 友雅
(岡山／岡山学芸館高校出身)



こんな人にオススメ！

- ▶ 商品がヒットした秘密を探りたい
- ▶ お客さんが集まる店の条件を知りたい
- ▶ コンビニエンスストアの商品流通を学びたい
- ▶ 消費者の視点からマーケティングを考えたい

鳥越さんの4年間の成長ストーリー

1年次

5専修の各領域に関わる入門的な知識を学びました。秋に始めたコンビニエンスストアでのアルバイトを通じて、身近な小売店舗にはどのような考え方やシステムが取り入れられているのかを知りたいと考えるように。

2年次

「ロジスティックス論」「消費者行動論」で、どのような理論に基づいて物流や販売のシステムが作られているかを学習。秋学期の演習では「サステナブルファッション」をテーマに、学外イベントにも参加し発表を行いました。

3・4年次

ゼミではSNSなどのプラットフォームビジネスを学んでいます。企業の狙いや今後の展望を知り、自分の将来においてもSNSでの発信が鍵になると実感。動画編集スキルも習得し、企業に貢献できる人材になるのが目標です。

国際ビジネス専修

国際ビジネスに必須のビジネス英語、外国との貿易、支払いのための外国為替、国際売買取引の仕組み、国際間の経済、政治、さらに米国、欧州、アジア、中南米、ロシアの経済、国際間の海運や航空輸送、米国、EU、アジアを中心に展開される国際物流などについて学びます。

貿易や世界の情勢、法律など
知識をリンクさせて理解する。

幼少期、海外の商品を買い付けるバイヤーの仕事テレビ番組で知り、貿易に興味をもちました。入学時から、貿易と世界の情勢を学べる国際ビジネス専修を志望。2年次までは各講義を別々に学ぶような意識で受講していましたが、専修に進んだからは関連しあう内容の講義が多く、より楽しみながら多角的に取り組んでいます。もともと関心のあった分野と、新しく吸収した領域がつながり、幅広い知識が身に付く専修だと思います。

2023年3月卒業 / 青木 千紘
(滋賀／県立彦根東高校出身)



こんな人にオススメ！

- ▶ 外国企業による日本企業買収について学びたい
- ▶ ビジネス英語を習得し、海外の人とコミュニケーションしたい
- ▶ アジア諸国の経済事情を探りたい
- ▶ 海外商品の輸入方法を知りたい

青木さんの4年間の成長ストーリー

1年次

簿記など、必修科目を軸に基礎を習得。高校時代に海外の方とコミュニケーションする楽しさを感じた経験から、国際的な活動を目標に、語学にも力を入れました。第2言語に選んだスペイン語の授業でも視野が広がりました。

2年次

後期の演習(プレゼミ)ではアメリカ出身の先生の指導を受け、英語で毎週プレゼンテーションを行いました。3分の動画にまとめるため、短時間でどれだけ自分の考えを伝えられるかが勝負。構成力も鍛えられました。

3・4年次

貿易取引の際にどんな手順が必要か、自由貿易協定が締結されると関連国にどう影響が及ぶのかなど、自身で考える面白さも感じながら学びました。今後は就職先で、海外の取引先との問題解決に貢献したいと思っています。

ファイナンス専修

社会にとって資金は人間の血液に相当します。企業、家計、政府が経済活動を行う上で必要となる資金の調達や運用、種々の金融機関からなる金融制度や、為替、証券市場などの金融市場がどのような仕組みと機能を有し、ビジネスや経済とどのように絡み合っているのかを学びます。

金融や保険、税を「構造」で捉え
よりよい仕組みや解釈を考える。

2年次の授業で税金の仕組みに興味をもち、ファイナンス専修を選択。税金徴収の制度には意外とグレーゾーンのような曖昧さがあることに驚きました。裁判や協議で日々見直され、自分なりに解釈できる面白さを感じます。この専修は特に「構造」に着目して考えるため、講義で仕組みについて問われ続ける中、物事の全体像を理解しようとする姿勢が身に付きました。株式や保険、税など、どんな道に進んでも役立つ知識を学べるのも魅力です。

4年次生 / 小林 脩平
(静岡／県立碧田南高校出身)



こんな人にオススメ！

- ▶ 社会や企業のお金の流れについて考えたい
- ▶ 銀行や証券会社の機能や役割を探りたい
- ▶ 保険の適切な活用法を学びたい
- ▶ 金融政策や税金の制度を知りたい
- ▶ ファイナンスのさまざまな分析手法を学びたい

小林さんの4年間の成長ストーリー

1年次

入門科目や共通科目で商学基礎を習得。「経済入門」で数学的に理論を学び、「流通入門」ではコンビニエンスストアなど身近な例で理解を深めました。「簿記入門」の授業が、税理士を将来の選択肢として考えるきっかけに。

2年次

身近な税金について知ろうと考え「租税政策論」を受講。所得税とは何かという基礎から学ぶこの授業で、金融への関心が強くなりました。この先生の下でより深い内容を学びたいと感じ、3年次から所属するゼミを決定。

3・4年次

「空き家問題と租税措置」をテーマに、商学部のゼミナール大会で発表を行いました。今後は税理士をめざして大学院へ、顧客の役に立ち、社会がよりよく動くような制度を提案できる人材になりたいと考えています。

マネジメント専修

グローバルでダイナミックに変化する環境は、多くの問題を企業に投げかけています。企業は、直面する課題をどのように解決しようとしているのでしょうか。マネジメント専修ではヒト、モノ、マネー、情報などに焦点を当て、ビジネスに関する意思決定の理論、歴史、政策を学びます。企業経営、組織運営の実際を、管理、労務、情報処理、戦略等多角的に分析し、理解します。

社会人の視点、経営者の視点で
将来役立つ知識を幅広く学べる。

社会で役立つ実践的な学びに魅力を感じて商学部へ。マネジメント専修へ進んだのは、1年次の演習で経営戦略に興味を抱き、この先生の下で学びたいと考えたからです。ゼミでは海外メーカーの販売戦略の論文を読み、英語でのプレゼンテーションを実践。企業戦略を反映したWebデザインを学ぶ機会も。体育会野球部との両立で忙しい毎日ですが、大学生活を通じて、効率的に時間を使うタイムマネジメントの力もつきました。

4年次生 / 岡本 亮誠
(和歌山／県立田辺高校出身)



こんな人にオススメ！

- ▶ 企業経営者として世界をリードしたい
- ▶ 新しいビジネスの創造を考えたい
- ▶ インターネットビジネスについて知りたい
- ▶ データを活用し、ビジネスに有用な知識を得たい

岡本さんの4年間の成長ストーリー

1年次

基礎演習では商品の物流や、各業界の販売戦略を学習。牛丼チェーン店における立地ごとのニーズの差など、身近な題材で分かりやすく経営戦略を学べたことが、3年次からマネジメント専修へ進むきっかけになりました。

2年次

この年次から、興味に応じて選べる応用科目がスタート。「サプライチェーン・マネジメント」の授業では、商品が生産されてから手元に届くまでの流れを学び、輸送の際にどんなコストがかかるのかを学びました。

3・4年次

将来社会に出て、いずれ経営者になった際に役立つことを学んでいる実感があります。マネジメントはどんな領域とも結びつくため、幅広い学びで視野が拡大。今後はアメリカへ留学して、世界で活躍できる人材をめざします。

会計専修

企業の経営者と投資家や銀行などの利害関係者の行動を左右する会計情報が、どのように作り出され、どうやって利用されるかについて学びます。そして、企業活動の運営に欠かせない手段としての簿記や、企業の会計情報を読み解く力を養います。実務と理論を学び、公認会計士や税理士、国税専門官、一般企業の経理担当者など、スペシャリストへの道を開く専門コースです。

会計から企業を読み解けば、より良い未来に貢献できる。

会計と聞くと電卓を叩く姿を想像し、難しそうに感じるかもしれません。実際の会計専修にはゲームを交えて学んだり、身近な企業を調べたりと、楽しくユニークな講義がたくさん。私は簿記への苦手意識を克服しようと会計専修を選び、サステナビリティ課題に対する企業の取り組みを研究中です。日本の未来を考え、ゼミで議論することも。公認会計士を志す人、会計から企業を読み解く人、それぞれに充実した学びができる専修です。

4年次生 / 大橋 璃花
(京都 / 京都明徳高校出身)

こんな人にオススメ！

- ▶ 企業のマネジメントを数値を通じて知りたい
- ▶ 公認会計士になりたい
- ▶ コンピュータを利用し、企業を分析したい
- ▶ 証券取引などの企業投資を学びたい

大橋さんの4年間の成長ストーリー

1年次

各専修にまつわる必修科目のうち、会計専修の基礎「簿記入門」で数字を扱う難しさを感じ、1年次のころは別の専修へ進もうと考えていました。この時に感じた会計専修への印象は、2年次の演習で大きく変わることに。

2年次

演習を選択する際、ゲームで楽しく会計を学ぶという案内文に惹かれ、会計専修の教授のゼミへ。牛丼屋の経営と人生を疑似体験するボードゲーム、現実の株価と連動する株式ゲームなどに触れ、視野が大きく広がりました。

3・4年次

地球温暖化や人権問題といったサステナビリティ課題の解決に向けた、企業の取り組みを研究。会計を通して企業姿勢を見抜き、より良い未来のために配慮している企業に投資する「ESG投資」に取り組もうと思っています。

実践プログラム

会計のプロをめざす

企業の経営者や従業員、投資家や銀行など企業内外の関係者が意思決定を行うために、会計は必要不可欠です。公認会計士試験や日商簿記検定などの資格合格をめざし、「会計のプロ」を育成します。

実践プログラム①

ALSP

短期間で公認会計士をめざす

会計連携 特別プログラム

Accounting Linkage Special Program

会計力

×

実践力

プログラム体験メッセージ

会計学の理論を深く理解できたことが3年次での早期合格につながりました。

高校3年生のとき、学部案内のパンフレットで公認会計士の存在を知り「かっこいい!」と思ったことが資格取得をめざしたきっかけです。高校卒業前に簿記の独学を始め、日商簿記検定2級に合格できる実力がつけば公認会計士をめざそうと決めました。簿記の学習を進め、2級を取得した1年次生の11月ごろ、正式に受験を決心しました。そこで受験予備校での勉強と並行し、2年次の秋から本格的にALSPプログラムに参加しました。

ALSPプログラムでは、会計専門職大学院の先生から実務に直結する講義を受け、ゼミ形式のワークショップで会計理論の背景を学んで理解を深めることができます。ワークショップでは発言の機会が与えられるため、明確に説明できるようにアプトブットを意識した学習を行うようになり、同じ志の仲間とディスカッションできる環境も成長につながりました。公認会計士試験の問題では、複雑な全体像を理解する応用力も問われます。自分なりに納得するまで考え、そうした難問に対応できる力が身に付いたのも、知識を暗記で終わらせずに考え方の本質まで学べたALSPプログラムのおかげだと思います。



4年次生 / 丸山 裕蔵
(大阪府 / 関西大学第一高校出身)

公認会計士試験合格を徹底サポート

商学部では、公認会計士をめざす学生を対象にした支援体制を、学部を挙げて整備しています。

2022年公認会計士試験に
関西大学から29名が合格。うち5名が
商学部在学中に合格!

企業の経営・財務活動を支えるニーズの高い資格。
公認会計士は、会計の専門家であり、独立した立場において、監査、税務、コンサルティングなどさまざまな役割を果たしています。

支援の特徴

簿記コンテストで奨励金を授与 奨励金で、簿記検定合格を応援します。

秋学期に開催する「簿記コンテスト」は、日本商工会議所が主催する簿記検定試験の直前対策の一環で、成績優秀者には、関西大学エクステンション・リードセンターや専門学校などの公認会計士受験対策の受講費用を援助するために、奨励金を授与しています。毎年、過去の入賞者が公認会計士試験に合格しています。それは、簿記コンテスト後にさらに勉強を続けた努力の成果ですが、「奨励金」がその一助となっています。

学外資格単位認定制度

日商簿記検定試験、税理士試験科目、公認会計士試験の合格者に対する学外資格を単位認定する制度があります。

日商簿記検定直前対策(3級・2級)

日商簿記検定試験の直前対策の一環として、受験専門学校と連携して、「検定直前攻略セミナー」を実施しています。

合格祝賀会の開催

関西大学の在学生・卒業生の公認会計士試験合格者に対して、毎年、合格祝賀会を公認会計士関大会(OB・OG会)とともに開催しています。

監査業務

企業の会計情報(財務書類)の正しさを第三者の立場からチェックします。透明性のある社会・経済を築くために必要かつ重要な業務です。

税務業務

税理士登録もすることができ、税務書類の作成や税務に関する相談を行うことができます。監査法人等に所属せず、個人で業務を行います。

コンサルティング業務

経営戦略の立案、組織構成に関する提案など、企業の重要な意思決定に関わって支援します。今後はますます重視される業務です。



公認会計士試験受験支援自習室の貸与

千里山キャンパス(第2学舎2号館7階)にある公認会計士試験受験支援のための自習室を有料で貸与。参考書や受験雑誌、自習用の机を用意しています。



エクステンション・リードセンター

学内機関としてエクステンション・リードセンターがあり、専門学校と連携して公認会計士入門講座が開設されています。

公認会計士制度の紹介

公認会計士制度説明会、日本公認会計士協会による講演会、公認会計士試験合格者による講演会などを開催し、さまざまな情報提供を行っています。

ALSPでの経験と公認会計士試験合格までの道のり

1年次

秋に日商簿記検定2級を取得できたことに自信を得て、エクステンション・リードセンターの講座修了後に受験予備校にも編入し、講義や答案練習(テスト)に加え、毎日平均7時間の自習に励みました。

2年次

秋から本格的にALSPプログラムに参加しました。エクステンション・リードセンターの講座修了後に受験予備校にも編入し、講義や答案練習(テスト)に加え、毎日平均7時間の自習に励みました。



3年次

8月の記述試験を経て、3年次で公認会計士の試験に合格! 合格発表後ほどなく大手監査法人への就職も決まりました。4年次からは学生非常勤という形で週3日勤務し、実務経験を積んでいます。

4年次



▶ 公認会計士試験の合格と、ビジネススキルの修得をフルサポート。

資格取得に向けて効果的なカリキュラムを提供

専任教員や外部講師による演習形式の講義を通して、効率的な学修を可能にするカリキュラムを編成しています。

講義は定員制で集中できる環境で実施

履修定員を設けることで、集中して学べる環境を整えました。ゼミ形式のワークショップなど実践的な学びを通じ、専門知識を深めています。

卒業所要単位を満たすことができる

ALSPでは十分な学習時間が確保できるように、26科目52単位を配当し、計14単位まで卒業所要単位に算入できます。

ビジネス英語に強くなる

実践プログラム②

BestA

イギリスでビジネス英語を身に付ける

海外ビジネス英語プログラム

Business English Study Abroad

英語力
×
実践力

プログラム体験メッセージ

海外の学生と力を合わせ、 プレゼンテーションを成功させました！

英語を学ぶだけでなく、英語でビジネスを学ぶというプログラム内容と、夏休みを利用してイギリス留学ができるという点に魅力を感じて参加しました。現地ではグループに分かれて、ヨークの魅力を観光客にもっとアピールするためのマーケティング戦略を考えました。主な観光名所を訪ね、観光客にインタビュー調査を実施。現状分析を行った結果、家族連れの観光客が多かったことから、子どもがいても訪ねやすい施設づくりを提案しました。グループには日本人の他に中国人、イタリア人の学生がいて、お互いの意思疎通は英語を使うしかありませんでした。聴いて分からなかった単語の意味を調べ、懸命に言葉を探して意見を出し合うことで、英語のスピーキング・リスニングの力が自然とアップ。プレゼンテーション自体も成功したことで大きな達成感を得ることができました。



2023年卒業 / 富田 ひなた
(大阪／大阪夕陽丘学園高校出身)

BestAに参加して成長したこと

参加前	留学中(26日間)	参加後
事前授業に参加し、留学に関するガイダンスや、英語でさまざまなビジネス戦略について学びました。また、グループに分かれてイギリスでの旅行プランを考え、英語と日本語でプレゼンテーションを行いました。	現地の方にインタビューを行い、イタリアや中国からの留学生と議論を重ね、プレゼンテーションを成功させました。また、ヨーク市内のさまざまな観光名所も訪れました。	事後授業に参加し、留学を通して成長したことについてスピーチを行いました。留学前より英語で話すことに抵抗がなくなり、ビジネスの場で使うフレーズも自然と出てくるようになり、英語の運用能力が高まったと実感しました。

※2019年度のプログラム体験談となっています。

▶ イギリスの古都・ヨークに滞在しながらビジネス英語を学ぶ。

ビジネス英語に特化した商学部独自のプログラム

教室での学習だけでなく、商業施設見学やイギリス国内旅行企画などを通して、イギリスのビジネスの現場を実際に体験。語学力の向上をねらいます。

約4週間集中で本場ビジネススクールの講義を受ける

イギリス・ヨーク大学と提携。約4週間現地に滞在し、ビジネス英語を短期集中で身に付けます。



ヨーク(York)
イングランド北部
ノース・ヨークシャー州の都市
人口は204,439人(2014年時点)

約3カ月間の長期で学ぶBestA 1学期コース

さらに長期間じっくり学びたいという学生のため、9月上旬から12月上旬の約3カ月間にわたるプログラムも用意しています。本学の認定留学制度を利用します。

BestA 紹介ムービー

海外ビジネス英語プログラム(BestA)のイギリス・ヨークにおける留学風景を紹介。現地での取り組みやホームステイ先での様子、休日の過ごし方など、BestAのイメージがつかめます。



ヨーク市内観光
歴史が古い美しい建造物が共存し
市内観光で様々な文化に触れる

1分55秒
ショートバージョン

10分40秒
ロングバージョン

グローバル化が進み、ビジネスにおいて英語が重要視されています。
さまざまなビジネスシーンに対応できる実践的な英語力や
自らの意見を発信していく能力を身に付け、国際社会で活躍できる人材を育成します。

実践プログラム③

BLSP

英語に強いビジネスリーダーをめざす

ビジネスリーダー特別プログラム

Business Leader Special Program

英語力
×
実践力

プログラム体験メッセージ

海外で企業と連携した研究発表を行い、 英語で考えを伝える力が鍛えられました。

入学当初から、海外を訪れて学べる機会があれば参加したいと思っていました。企業経営に興味をもち商学部へ進んだ私にとって、ビジネスに役立つスキルと英語力が身に付き、海外ワークショップの機会も得られるBLSPはぴったりのプログラムです。日本で取り組んできた研究発表に加えて、シンガポールで現地企業と連携し英語でのプロジェクトに参加できたことは、将来の選択にもつながる財産となりました。

BLSPでは英語の力を磨くと同時に、プロジェクト遂行のために必要な力が鍛えられます。研究発表に向けたグループワークでは、アイデアを生み出す力、まとめる力、わかりやすく言語化する力など、さまざまな能力が必要です。メンバー各自が得意な領域を担い、試行錯誤を重ねて進めました。シンガポール研修では企業訪問から約1週間で発表まで仕上げる必要があり、いかに少ない試行錯誤で自分たちの考えを届けるかを工夫し、適切な英語で伝える力が身に付いたと感じます。言葉の壁に苦労しましたが、学びの集大成として発表に臨み、大きな感動と達成感を味わえました。今後は英語を使って海外事業に携わる仕事をめざし、さらに英語力を磨きたいと思います。



4年次生 / 松井 奎樹
(岡山県／県立玉島高校出身)

BLSPでの経験

2年次	3年次	4年次
秋学期の演習では、コロナ禍で冷え込んだ旅行業界を盛り上げる施策を立案。私たちのグループは、旅行者が移動への不安を軽減できるよう、駅にご当地名物の自動販売機を設置するアイデアを打ち出しました。	春学期は「顧客の目線と関心に配慮した新しい広告」をテーマに、他大学とのゼミナール大会などで研究発表を行いました。2月にシンガポール研修に参加。現地企業と連携し、SDGsを幼児に伝えるプログラムを提案しました。	4大学のゼミが参加する合同発表会を関西大学で行うため、主催側のゼミ生として準備を進めます。さらなる語学スキルの向上をめざし、英語を使ったプロジェクトに今後も率先して参加したいと考えています。

▶ プロアクティブなビジネスリーダーをめざす、少数精鋭のプログラムを展開。

海外でプレゼンテーションをするのに十分な英語力を身に付ける

2年次でプレゼンテーションの基礎を学んだうえで、3・4年次にかけてプロジェクトに取り組み、プレゼンテーション能力を磨いていきます。

1クラス15名程度の少数精鋭のゼミ形式

3・4年次は、少人数制のゼミで細かい指導を行います。チームでプロジェクト研究に取り組み、リーダーシップとプロジェクト実践力を身に付けます。

現地企業・大学でプロジェクト研究のプレゼンテーションを

3年次の春学期より準備を始め、夏の海外ワークショップにて、現地企業や大学でプロジェクトの調査・発表を英語で行う予定です。



▲シンガポール研修の様子

ビジネスのスペシャリストになる

ビジネスの世界で必要とされるのは「最後まで自分で成し遂げる力」。大規模なデータの分析力、リサーチ力、コミュニケーション能力を徹底的に鍛え、企業や組織に新しい価値をもたらすサービス・イノベーターを育成します。

実践プログラム④

DSI

データ分析で新たなビジネスを生み出す

サービス・イノベーション 特別プログラム

Data Mining and Service Science for Innovation

発見力
×
実践力

プログラム体験メッセージ

実際のデータを扱い、分析する過程で
多角的に考える重要性を学びました。

データを用いた消費者リサーチ方法と解析に必要なITスキルを習得し、企画立案の力を身に付けたいと考えてDSIプログラムに参加しました。札幌市内に展開するスーパーマーケットから提供された購買データを用いて、店舗の売上や顧客単価、売れ筋商品の推移を分析。2020年にお酒のおつまみに相当する食品分類の売上が増えたことから、コロナ禍による行動制限で在宅時間が伸びた影響ではないかと考えました。来店客数の推移も踏まえて消費者心理や行動制限との関係を考察し、発表を行いました。しかし協力企業のマーケティング担当者の方から考察の詰め甘さを指摘され、個別の商品に目を向けて売上の要因を探り、さまざまな可能性を考慮して分析する重要性を学びました。実際のデータを分析し、プロの方に発表する貴重な体験を通じて、心身ともに鍛えられたと感じます。目的意識をもって行動するようになり、自分の考えを人に説明する力、最後まで課題に立ち向かう力も磨かれました。この経験を生かし、将来はマーケティング職に携わりたいと考えています。



4年次生 / 河野 七萌
(大阪府立住吉高校出身)

DSIに参加して 得た経験



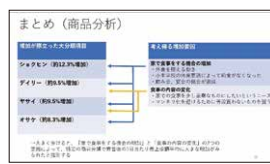
3年次

4月～6月

コンピュータに触れながら、データ処理の基礎を習得。解析に必要な関数やプログラムを実践的に学びました。

7月～9月

実際の購買データをもとに分析を開始。必要なデータを抽出後グラフ化し、商品の売上推移とその要因をまとめました。



10月～

夏季の反省点を踏まえ、より踏み込んだ分析へ。ネット通販と店舗を両方活用している「マルチチャネル顧客」の特性にアプローチしました。

▶ ポテンシャル豊かなイノベーターを創出し、社会に貢献できる人材を育成。

グローバル社会のニーズに応える サービス・イノベーションを生み出す

新サービスを創造するため、ビジネスの大きな動きを科学的に解析し、新しい知見を加味して考えるというイノベーターとして必要な能力を身に付けます。

データマイニング技術の習得を もとにイノベーターをめざす

膨大なデータ(ビッグデータ)から新サービスの創造に役立つ有益な情報(パターンやルール)を引き出す「データマイニング」の技術を習得します。

共同プロジェクトで 企業とコラボレーション

企業との共同プロジェクトに挑戦します。大手企業の社員からのフィードバックを得られることもあり、貴重な機会となっています。

DSI 紹介ムービー



2019年度文部科学大臣表彰において、科学技術賞を受賞された矢田勝俊教授が、サービス・イノベーション特別プログラム(DSI)の概要をデータマイニングが目目されている背景とともに解説。DSIを受講し、社会で活躍するOB・OGからのメッセージもあります。



45秒

ショートバージョン



6分11秒

ロングバージョン

商学部ニュース!

2024年4月スタート!

実践プログラム⑤

FSP

実践的な学びで高度な金融知識を身に付ける

ファイナンス 特別プログラム

Finance Special Program

金融力
×
実践力

プログラム概要

金融に関する基礎的・応用的・発展的内容を体系的に理解し、
実践的な学びを通じて高度な金融知識を有する人材を育成します。

▼ 履修に関する留意事項は次の通りです。

- 2・3年次夏季休業期間に開講する「ビジネス研究(ファイナンス・インターンシップ)」については、履修希望者の中から選抜することがあります。なお、先修条件として、第1類入門科目「経済入門」および第2類共通科目「現代経済」の2科目4単位を修得しておくことが必要です。
- 1年次秋学期に説明会を開催します。このプログラムの履修を希望する場合は必ず参加してください。
- ファイナンス特別プログラムに関連する以下の科目の中から、必修科目である第2類共通科目「金融論」および第6類産学連携科目「ビジネス研究(ファイナンス・インターンシップ)」の2科目4単位、選択必修科目である第2類共通科目「保険経済論」「金融情報論」および第3類応用科目「金融システム論」「証券市場論」「国際金融論」のうち2科目4単位を含み、計18単位を修得した場合にファイナンス特別プログラム(FSP)を修了したものと認定し、「ファイナンス特別プログラム(FSP)修了証」を授与します。

なお、ファイナンス特別プログラム修了要件となる選択必修科目の修得単位数が必要単位数(4単位)を超える場合は、その超過単位数を選択科目の単位数の中に算入することができます。

〈ファイナンス特別プログラムに関連する科目〉

必修科目:4単位	
第2類 共通科目:金融論	
第6類 産学連携科目:ビジネス研究(ファイナンス・インターンシップ)	
選択必修科目:4単位	
第2類 共通科目:保険経済論、金融情報論	
第3類 応用科目:金融システム論、証券市場論、国際金融論	
選択科目:10単位	
第3類 応用科目:ファイナンス特殊講義、ファイナンス論、ミクロ金融分析、金融政策論、企業金融論、国際通貨システム論、実証ファイナンス、保険経営論、証券分析論	
第4類 演習科目:(ファイナンス専修)専門演習、卒業研究、研究論文	

商学部の学生が企画・運営を行う

関西大学ビジネスプラン・コンペティション

KUBIC

Kansai University Biz Plan Competition



2023年度は第18回本選会が10/7(土)に千里山キャンパスで開催となります。

広報活動からイベント当日の運営まで、学生が主体となってビジネスプラン・コンペティションを盛り上げます。

KUBIC(キュービック)のキャッチ・フレーズは「学生の力」。応募はもちろんのこと企画運営についても協賛団体や大学スタッフの支援を得ながら、学生が主体となってKUBIC学生実行委員会を立ち上げ、活動を行っています。KUBICは、応募においても運営においても、学生自身が主役となるイベントです。

KUBIC「学生の力」の詳細はこちら



KUBIC 紹介ムービー



アイデア出しから応募、本選会当日まで、関西大学ビジネスプラン・コンペティション(KUBIC)の流れと概要を解説。KUBIC学生実行委員会によるイベントの準備模様も見られます。



1分18秒

ショートバージョン



7分6秒

ロングバージョン

キャリアデザイン・資格

充実したキャリアサポート

キャリアデザインとは、自分がどのように仕事(キャリア)と関わり合っていくのかを構想(デザイン)することです。商学部でビジネスを学ぶことは、社会のさまざまなフィールドで活躍するために必要な広い視野、そして実践的な知識を獲得することにつながります。

1～2年次

大学生活を有意義に過ごし、
キャリアデザインの意識を高める。

3年次

インターンシップなどを体験し、
就職活動に備える。

4年次

就職支援プログラムを活用して
自分に合った進路を決定する。

キャリアデザインセミナー、 キャリアプランニングセミナー

キャリアデザイン
について考える
機会を豊富に設
けています。



インターンシップ

実際に企業・団体の職場で就業体験
を積むチャンスです。



就職支援プログラム

- 業界研究セミナー
- 企業研究セミナー
- 就職活動対策講座
- 就職模擬面接 など



卒業

商学部でめざせる資格

公認会計士

会計の専門家であり、独立した立場において、監査業務、税務業務、コンサルティング業務などさまざまな役割を果たしています。企業の経営・財務活動を支えるニーズの高い資格です。

税理士

税金の申告をはじめ、記帳代行や決算書作成など、税務および会計全般の業務を行う唯一のプロフェッショナルです。企業のみならず個人の納税までサポートする社会貢献度の高い国家資格です。

日商簿記検定

日本商工会議所等が実施する社会的評価の高い簿記の検定試験。経理・財務をはじめ経営管理に役立つ知識として、企業に最も求められる資格の一つです。商学部では就職に有利な2級以上合格を推奨しています。

中小企業診断士

中小企業に対して、経営状況を診断してコンサルティングを行える国家資格です。

国税専門官

国税局や税務署に勤務し、租税財源を確保するため、納税者への指導、督促などの業務を行う専門職です。

不動産鑑定士

土地や建物などの不動産の評価や担保としての価値を判断するための国家資格です。

証券アナリスト

投資についての高度な専門知識と分析能力を駆使して、投資家へのアドバイスや投資管理の情報を提供します。

教員免許

中学校の社会科、高等学校の地理歴史科、公民科、商業科の教員をめざすことが可能です。

商学部生の就職率 (2023年4月現在実績)

男子学生

97.4%

女子学生

99.7%

卒業生の就職先の一例 (2023年4月現在実績)

製造業	アイリスオーヤマ/旭化成ファーマ/アサヒビール/味の素/いすゞ自動車/伊藤ハム/エフピコ/王子ホールディングス/オカムラ/沖電気工業/オムロン/キーエンス/京セラ/クボタ/コカ・コーラボトラーズジャパンペンディング/ザ・バック/サカタインクス/サラヤ/サントリーホールディングス/GSユアサ/島津製作所/シャープ/SCREENホールディングス/スズキ/住友電気工業/大王製紙/大建工業/椿本チエイン/東芝/東芝テック/東洋水産/東洋製罐グループホールディングス/東洋紡/TOTO/豊田自動織機/西島製作所/ニチコン/ニッポン/日本ハム/日本光電工業/任天堂/能美防災/パナソニックグループ/フジテック/ブルボン/ホシザキ/マクセル/丸大食品/三菱電機/村田製作所/森永乳業/ヤクルト本社/山崎製パン/ヤンマーホールディングス/ユニチカ/横河電機/淀川製鋼所/YKK AP など	金融業・保険業	朝日生命保険/阿波銀行/SMBC日興証券/大阪シティ信用金庫/岡三証券/オリックス銀行/かんぽ生命保険/紀陽銀行/京都銀行/京都中央信用金庫/山陰合同銀行/ジェシービー/滋賀銀行/住友生命保険/太陽生命保険/東海東京フィナンシャル・ホールディングス/東京海上日動あんしん生命保険/東京海上日動火災保険/南都銀行/農林中央金庫/みずほ証券/三井住友カード/三井住友銀行/三井住友信託銀行/みなと銀行/明治安田生命保険/りそなグループ など
教育・広告・その他サービス業	有限責任あずさ監査法人/EY新日本有限責任監査法人/ADKホールディングス/セコム/ダスキン/帝国データバンク/電通デジタル/有限責任監査法人トーマツ/西日本高速道路(NEXCO西日本)/日本旅行/船井総合研究所 など	建設業	安藤・間/一条工務店/きんでん/清水建設/住友林業/積水ハウス/大成建設/大和ハウス工業/LIXIL など
情報通信業	アイテック阪急阪神/アスクル/SCSK/NTTコミュニケーションズグループ/N TTDコム/大塚商会/オービック/オブテック/キャノンITソリューションズ/KDD I/サイボウズ/ジェイテック/システナ/スミセイ情報システム/ソフトバンク/TIS/トランスコスモス/西日本電信電話(NTT西日本)/ニッセイ情報テック/ロジエ/日本アイ・ビー・エム/日立システムズ/BIPROGY/富士通/みずほサーチ&テック/ロジーズ/MonotaRO/USEN-NEXT HOLDINGS/読売新聞東京本社/楽天グループ/リクルート など	不動産業・物品賃貸業	オリックス自動車/住友不動産販売/積水ハウス不動産関西/東急リパブル/日建リース工業/みずほリース/三井不動産リアルティ など
卸売業・小売業	イオンリテール/伊藤忠ミカエルフロンティア/稲畑産業/因幡電機産業/岩谷産業/ウィーメックス/岡谷銅機/カインズ/キャノンシステムアンドサポート/JFE商事/しまむら/住友商事マシネックス/生活協同組合コープこうべ/セブン・イレブン・ジャパン/ダイロン/たけでん/ニトリ/日本酒類販売/白銅/阪和興業/富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ/富士フイルムビジネスイノベーション/松下産業/三菱食品/山善/リコージャパン/RYODEN など	公務員・公立学校教員	国家公務員一般職/国税専門官/大阪府職員/兵庫県職員/奈良県職員/徳島県職員/京都市職員/大阪市職員/堺市職員/石川県教員/兵庫県警察官 など
		運輸業・郵便業	ANAエアポートサービス/ANA大阪空港/ANA関西空港/キューソー流通システム/佐川グローバルロジスティクス/三井物産グローバルロジスティクス/ロジスティード など
		電気・ガス・熱供給・水道業	関西電力/東京電力ホールディングス など

※原則として業種別、50音順で記載しています。

OB・OG

卒業生からのメッセージ

ビジネスを学んだ学生は、
当然就職にも強い！
厳しい就職環境の中でも、
商学部は毎年全国平均を上回る
就職率をあげています。

流通専修

株式会社TKC

井上 沙弥 さん
(2022年3月卒業)



幅広い知識で企業の課題解決を支援

自社が提供する会計システムやサービスを活用し、税理士事務所とその取引先企業の課題を解決へ導く仕事をしています。税務の知識、ITスキル、営業スキルなど幅広い力が求められますが、大学時代に会計を学んだためスムーズに仕事が身に付きました。担当先の税理士事務所に加えて、その顧客である企業に対しても課題に沿った提案を行うため、大学で学んだ流通の知識が役立っています。在学中に講座に通って取得した簿記検定2級の資格も、今の業務につながりました。商学部を選ぶ方には、ぜひ大学の支援制度を活用して自分の強みを増やしておくことをお勧めします。

ファイナンス専修

第一生命保険株式会社

宗田 侑里香 さん
(2022年3月卒業)



今と将来の暮らしをサポートする

生命保険の商品を、担当企業の社員の方に提案する営業職を担当しています。予防医療や保険の大切さを分かりやすく伝え、お客さまの状況に合わせた提案を行うことで、今と将来の暮らしをサポートできます。ライフプランを設計する際は、家計の現状から問題点を見つけて改善策を考えるため、金融の知識が欠かせません。商学部で金融機関の仕組みや保険のメカニズム、租税制度などを幅広く学んだことが役立っています。今後もお客様と関わる中でさまざまな考え方や価値観に触れ、「あなただから信頼できる」と言われる人材をめざして成長し続けたいと思います。

国際ビジネス専修

パナソニック株式会社

藤田 夏未 さん
(2007年3月卒業)



お客さまの声からサービスを向上

家電製品のサービス部門で、係長としてwebサポート業務に携わっています。年間約200万件のお客さまの声をもとにサイトのFAQ(よくある質問)を作成し、お客さまが困り事を自己解決できるよう導くほか、届いた声をものづくり部門に伝えて商品改善につなげるなど、顧客満足の向上をめざし活動しています。在学中にゼミ研修の一環で、アンケート結果から課題・対策を検討しましたが、その時の経験は「お客さまの生の声を役立てる」という今の業務の根本につながっていました。そのころ取得したオフィスソフトの資格も、日々の資料作成に直結しています。

マネジメント専修

大阪国税局

樽本 周弥 さん
(2020年3月卒業)



4年間の学びを適切な課税につなぐ

企業や組織の決算書、貸借対照表、損益計算書などを読んで財務状況を調べ、いろいろな工夫と配慮をしながら適切な課税を行う仕事です。大学で学んだ経営戦略や会計知識を活用して、社会に貢献できる職務にやりがいを感じます。近年はITと関連する新しいビジネス形態が増えているため、IT業界のイノベーションを商学部で学んだことも、業界と経済のトレンドを踏まえた業績評価や課税評価に生きています。在学中は公務員試験の勉強と並行し、留学生との交流を通じて英語力も高まりました。今後はさらに語学力を磨き、国際課税に携わることを目標にしています。

会計専修

野村證券株式会社

上田 一樹 さん
(2020年3月卒業)



企業経営者との交流でスキルアップ

証券会社の法人営業として、主に未上場企業とそのオーナーの方を対象に、資産の運用や事業継承、会社の売却・買収など幅広いサポートを担当しています。経営者や役員の方々は金融・経済の専門知識をもっているため、営業側にも豊富な知識とコミュニケーション力が求められます。企業の決算書を読んで提案を行う機会も多く、会計専修で得た知識を生かしながら、ハイレベルなビジネスパーソンと接してスキルアップにつなげています。社会人になった今、私が「素敵だな」と感じる人は全員、いろいろな経験を積んでいます。ぜひ大学で一つでも多くのことに挑戦してください。